

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人 日本奇術協会
公演団体名	公益社団法人 日本奇術協会

内容
<p>オープニングマジックに5～6分のマジックを披露します。</p> <p>A マジックの歴史編・最古のマジックから現代のマジックまで、世界の文献より構成した奇術の実演を交えて解説します。</p> <p>B マジックの理論編・奇術の基本原則より代表的なマジックの原理を実演を交えて解説します。</p> <p>① 「指先の技術を使う」・・・四つ玉・カードを使ったマジックの実演・解説。</p> <p>② 「道具に仕掛けがある」・・・2本の筒・ロープ等を使ったマジックの実演解説。</p> <p>③ 「秘密のタネを使う」・・・サムチップ・ゾンビボール等を使ったマジックの実演。</p> <p>④ 「目の錯覚を利用する」・・・錯覚を利用した図形の道具を、児童と一緒に目の前で起こる現象を体験します。</p> <p>⑤ 「理科の原理を利用する」・・・水をワインに変える物理・科学（化学）等の原理を使ったマジックの実演。</p> <p>⑥ 「算数の原理を利用する」・・・数字を当てるマジック等、児童と一緒に実演。</p> <p>⑦ 「相手の注意をそらす」・・・いかに観客の注意をそらすかの演技【ミスディレクション】を解説と実演で鑑賞してもらいます。</p> <p>※ 以上のマジックは学校での勉強が原理に繋がっている事を感じてもらいます。教材を使いマジックを体験・習得をしてもらいます。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>【会場入り】</p> <p>開始時間の2時間～2時間半前に入ります。</p> <p>会場の準備・会場の内見・担当者とワークショップと本公演についての打ち合わせ。</p> <p>【ワークショップの時間】</p> <p>1時間目・2時間目の2枠 3時間目・4時間目の2枠 5時間目・6時間目の2枠 いずれかを学校と相談の上、決定いたします。</p> <p>コロナ対策として事前に入念に打合せを行い学校側が安心して行えるように最善を尽くし整えます。児童の参加人数、並び、会場などソーシャルディスタンスを保ち開催。消毒や消毒シートの持ち込み。講師・補助講師マスク・フェイスガード着用、希望があれば手袋も着用。</p> <p>前年度の学校希望例：時間を1枠にする。学年ごとに同時刻開催と場所を整えていただき指導講師の人数を派遣し対応をする。リモートでワークショップを行う等。出来る限り学校に寄り添い</p> <p>標準に近い体験をしていただくよう対応させていただきます。</p>

【ワークショップ終了後】

校長先生には事業総括がご挨拶に伺い本公演に向けての話をします。
その間に機材等は会場より搬出します。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

講師：1名
補助講師：5名
合計＝6名

講師・補助講師、派遣者には1週間前より健康チェックシートを配布し朝晩の体温を検温。

万全な体調管理を確認し取り組みます。また、ご要望に応じてPCR検査・抗体検査を行い伺います。

学校における事前指導

- 会場準備の際に本公演開催の体育館内に詳しい方にいていただくようお願いいたします。
- ワークショップにて使用する機材は幣協会の案内に沿って配布のご協力を願います。
- 事前に教材を送るので児童に気づかれないように予習をお願いします。
- 換気をお願いします。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人 日本奇術協会
公演団体名	公益社団法人 日本奇術協会

演目
「夢と希望の創造空間 Magic of Magic -compilation-」 1. 「鳩のマジック」 2. 「マニピレーション or ゼネラルマジック」 3. 「おしゃべりマジック」 4. 「児童・生徒による演技披露または発表」 5. 「和妻」 6. 「イリュージョンマジック」

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者：10名 スタッフ：9名 合計＝19名
演者・スタッフ一同、派遣者には1週間前より健康チェックシートを配布し朝晩の体温を検温。万全な体調管理を確認し取り組みます。また、ご要望に応じてPCR検査・抗体検査を行います。

タイムスケジュール（標準）
○入り時間＝7：30～ 搬入・設営＝7：30～（3時間程度） ○演者リハーサル＝10：00～ 児童リハーサル＝11：00～11：45 ○昼食＝12：00～ ○開場＝12：45～ 開演＝13：00～14：45 ○バラシ・搬出＝14：50～17：00 予定

実施校への協力依頼人員

○開場設営・撤収要員として暗幕張り・客席設置・暖房機設置のご協力をご依頼致します。

○観客数によっても異なりますが、2名～6名お願い致します。

○ステージ上のピアノ昇降を人力にて行う場合は当方スタッフ以外に8名程の要員を必要としますので、ご協力を願います。

※終始いて頂ける担当者を1名～2名希望いたします。

演目解説

「マジックとは」をテーマに各分野のマジックショーをショー形式にて楽しんでいただきます。

1. 「鳩のマジック」＝次々と鳩を出現させるオープニングマジックにふさわしい華やかな演出で観客の心を引きつけます。
2. 「マニピレーションまたはゼネラルマジック」＝指先の技術を主体とした本格的な演目や、マジックの中でもよりポピュラーで一般的なマジック等、マジックの神髄をじっくりと鑑賞して頂きます。
3. 「おしゃべりマジック」＝観客席と一体となった明るく楽しい演目。児童・生徒とのやり取りを通し、マジックのパラエティを感じてもらいます。
4. 「児童・生徒代表による演技」＝先立って実施されたワークショップ内にて講習した内容を、児童・生徒から選抜された代表が実演。マジックを観る楽しさだけでなく、演じる喜び、友達のマジシャンを応援する嬉しさを体験してもらいます。
その後スペシャルマジシャンとして代表の先生に（1名）登場していただき児童たちの体験を先生にもしていただきます。
5. 「和妻」＝日本古来の伝統奇術。日本でも古くからマジックが演じられ、また芸能として鑑賞されてきたこと、同時にそれらが今日でも娯楽として立派に通用する優れたものであることを知ってもらいます。
6. 「イリュージョン」＝人間の出現・消失・浮場などの大魔術。大掛かりな演目で、公演のラストにふさわしい感動を与えるインパクトのあるマジックです。

※上記6種類からなる演目の間にはそれぞれ司会者が入り、マジックの歴史・分類・各マジシャンのプロフィールなどについて解説します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

(A) 上記4の項目において、ワークショップでの講習をした内容を児童・生徒代表に実演させる。その際、簡単な内容を確実に習得させ、必ず成功して拍手喝采となるよう導く演技をする児童は人数を絞り間隔をあけます。

指導するスタッフはマスク・フェイスガードを着用し、必要であれば手袋を装着。

ステージで演技をする児童には、共演する出演者・司会者も同様にします。

(B) 上記3の項目において、出演者が積極的に児童・生徒と会話をする事により、交流を深める。

演技中はステージ上と観客席の児童とのやりとりです。距離は十分とっております。

(C) 各出演者共、トークのある場面では積極的に児童・生徒と会話をし交流を深める。

演技中はステージ上と観客席の児童とのやりとりです。距離は十分とっております。

(D) 司会は、一方的なトークとならず極力、児童・生徒と対話し公演を進行するよう、特

に留意する。

コロナ禍の中の公演に置いて、学校の要望により1公演を2公演とすることも可能。

ZOOMなどのオンライ中継も可能。

上記以外に前年度例、先生との話し合いにより、異学年交流は控えるように市町村からお達しが出ている中、すべての学年に公演を見せたと希望があり、通常の1公演を3部に分け、午前中・午後と2公演開催し1年生～6年生まで公演を鑑賞。上記4の項目、児童舞台出演についても各回に代表児童が舞台に立つことが出来ました。

児童生徒とのふれあい

○途中休憩時には十分な換気をし空気を入れ替えながら児童・生徒達と距離をとりながら交流を深めます。

○舞台設営の為の機材の搬入や簡単な舞台美術の飾り付けを体験して頂くことも可能です。

○休憩時間に音響・照明の機材の説明等も可能です。

○舞台撤収の為の軽量機材の搬入と使用した舞台と会場の後片付けやお掃除のお手伝いをして頂けることも可能です。

スタッフはマスク・フェイスガードを着用、必要に応じて手袋を付けます。

消毒液も用意しております。